

連続クイズホールドオン！参戦記

この度、「連続クイズホールドオン！」というクイズ番組に出演しました。子供のころからクイズ番組出演にあこがれて、ようやく本選出場ができました。しかしここまで来るのに決して平坦な道ではありません。なんと予選を20回以上受けたのです。

ぼくは両親の影響か小さい頃からクイズ番組をよく見ていました。その頃は視聴者が参加できるクイズ番組が結構たくさんありました。「アップダウンクイズ」「ベルトクイズQ&Q」「クイズタイムショック」「クイズグランプリ」「スーパーダイスQ」そして「アメリカ横断ウルトラクイズ」…など

夏休みや祝日になると「ベルトクイズQ&Q」や「スーパーダイスQ」を観ながら昼食をとったものです。

今から約40年前、ぼくが5歳のときに「ベルトクイズQ&Q」でミリオンステージに挑戦して最終問題で100万円獲得した人が光り輝いて見えたのがクイズ番組に出たいと思った始まり。優勝したら賞金が貰えたり、海外旅行へ行けるのも魅力でした。

中学2年生の時に第1回高校生クイズが開始されて、高校に進学したら予選に出場したいと思った。無事高校に進学して1年生の夏休みに同級生と一緒に熊本まで初めて高校生クイズの予選に挑戦するチャンスが訪れた。結果は「YES NO クイズ」で1問落ち。それから2回予選に挑戦したけど、2回目は1問落ち、3回目でもようやく2問目まで進んだ。1問目を正解した喜びは今でも忘れられない。

この頃になって「視聴者参加型」クイズ番組はほとんど終了してしまったのでクイズ番組に挑戦する機会が少なくなってきたが、21歳の春に今でも放映している「アタック25」の福岡予選に初めて挑戦した。予選は20問のペーパークイズ（当時）と面接の2本立てだった。ペーパークイズで参加者を4分の1に絞り込むけどそこでなんと合格できた。「次は面接だ」と意気込んだものの面接官とうまく話すことができず、案の定不合格。

90年代にクイズ王決定戦をやっており「クイズ王」ブームが訪れ、「FNS1億2,000万人のクイズ王決定戦！」や「史上最強のクイズ王」の予選を無謀にも受けに行った。「FNS1億2,000万人のクイズ王決定戦！」では150問（当時）のペーパークイズを淡々と解いていくが、もちろん予選落ち。これではいけないと翌年に地元でクイズサークルを立ち上げた。当時発刊していた地元タウン誌を使って会員を募集したが、結構会員が集まった。運のいいことに高校時代の同級生でたまたま、地元タウン誌の編集の仕事についていた人がいて、愛好会の例会を取材してタウン誌の特集に載せていただいたので非常にありがたい。

愛好会の運営は軌道に乗ったけど、「ウルトラクイズ」もその年限りで打ち切り。「ウルトラクイズ」の終了した直後に「クイズ王決定戦」もだんだんなくなっていきます。その後もいくつかクイズ番組が誕生して、その間「アタック25」を含めて「クイズ\$ミリオネア」など色んなクイズ番組の予選会に挑戦してずっと落ち続けました。やがてこの頃からトライアスロンの練習を始めるようになり、愛好会を諸事情で離れるようになったから次第にクイズへの情熱が冷めだした。

2012年にNHK総合で「連続クイズホールドオン！」が始まりました。帯番組としては久々の視聴者参加型クイズ番組であるが、番組を観るうちに再びクイズ番組への挑戦意欲が湧いてきた。

番組開始直後に福岡で予選を受けに行った。受付を済ませてからまずはエントリーシートを書いて、予選は50問（制限時間15分）のペーパークイズと面接の2本立てで行われる。面接では面接官がエントリーシートに書いたことをもと質問してそれに答えていく。ペーパークイズではわからない問題が多かったし、面接ではうまく対応できなかったけど結果は不合格。

翌年（2013年）の冬に2回目の予選を受ける、忘れ物と渋滞に巻き込まれて集合時間の遅刻寸前となり、ペー

パークイズでケアレスミスが多くて案の定不合格。その間に自分の友人・知人が次々と本選出場して自分はかなり焦りを感じ、この時すでに20回以上予選受けているのでいい加減に気持ちが折れかかる。

8月初めには高校の同窓会に出席して久しぶりに旧友と会うが、その中に先に話した元タウン誌の編集の仕事をしていた人、さらには一緒に高校生クイズの予選会場に一緒に行った人がいたなどがなんと「今もクイズ、やっているの?」「クイズしないの?」とぼくが高校当時からクイズに興味を持っていたことを覚えてくれていたのだ。彼らと再会した後、「いつかクイズ番組の本選に出て、テレビに映っている自分をみんなに観てほしい」という思いが強くなり、ホールドオン挑戦へのモチベーションが一気に上がる。NHKのホームページを見ると10月に福岡予選が開催されるという案内があったので即エントリーした。

10月26日(土曜日)

3回目の予選に挑戦する。ペーパークイズでは度忘れした問題が何問かあったものの半分以上は解けたし、面接ではトライアスロンについて落ち着いて話のできたので自分の力を出し切った感があった。

11月6日(水曜日)

ついにNHKから「最終選考に残った」というメールが来た。メールに示された日程内の収録OKと即答すると、翌週には「12月1日(324回)出場決定」の通知が来る。番組担当者からの電話もあり、40年来の悲願であった「クイズ番組本選出場」が現実になる。

偶然にも本選3週間前に私用で上京したけど、その際本選が収録されるNHK放送センターを下見し、夕方には東京在住の高校時代の旧友と再会した。その時にホールドオンに本選出場が決まったこと報告するとみんな喜んでくれた。うち4人は番組収録に応援に来てくれるとのことなのでなおさら嬉しかった。ここで「絶対にチャンピオンをめざしたい」と思う。

12月1日(日曜日)

この番組は基本的に隔週の土曜日・日曜日に5本分ずつ収録するけど、ぼくの収録は日曜日の午後からということで自宅から午前中の飛行機に乗って上京する。NHK放送センターに着いて4人の応援団と合流するとうちひとりが得意の書道で「森くんファイト」と書かれた横断幕を用意してくれているからありがたい。建物の中に入るとスタッフが控室に案内してくれる。机には名札と手引きのパンフレットが置かれていた。そこで対戦相手3人(メンバーは後述)と初めて対面して彼らと談笑する。3人のうちうち2人はクイズ番組出場経験なしのうち1人にはかつて第11回アメリカ横断ウルトラクイズでベスト7まで駒をすすめた高橋麻里子さん(愛称:チャーリー)がいる。着物姿だっただけに当時よりかなり大人びているのでびっくりした。本番では彼女が最大の「ライバル」になると予想した。

しばらくしてスタッフから収録に関する説明を受けた後、前半のステージデュオとステージスクエアの解答で使用するタブレット(居酒屋や回転すしの店にあるくらいの大きさ)の練習をさせてもらった。ほとんど正解できたので少しは自信がついた。本番収録まで少し時間があるので、ロビーにあるモニターを見ると前のファイナルステージの収録をやっている。そこにはなんと20年以上前からの知り合いである松岡充浩くんがいるではないか!彼はかつてクイズ愛好会にも足を運んだことがあり、お互いに手の内や実力をよく知っている。結果はやはり松岡くんが新チャンピオンになった。「まじかよ!」と唾然とした。もし自分がファイナルステージに駒を進めたらストレートで3問以上正解しないと勝負にならないと悟った。

控室からスタジオに通される。テレビ局のスタジオには知人がアタック25の本選出場した時に2回応援席に座ったことがあるが、ついに解答者としてスタジオ入りする。本番前にスタジオのセットを利用した記念撮影が許されたので、デジカメで何枚か撮る。説明とちょっとしたリハーサルが終わり、いよいよ本番!トライアスロン

でのエリート戦のスタートの同じように、スタッフからひとりずつコールされ、観客席からの拍手に迎えられて解答席に着くがすでに鳥肌が立ちそうになる。

司会の武内陶子アナウンサーも登場してテーマの発表。

テーマは「蒸気」。

テーマを聞いてまずS Lと食べ物の関連問題は必ず出題され、苦手な動物や植物の問題、アンケートの問題が出る可能性は低いと予想する。

対戦メンバーは次の通り（画面に向かって左側から）

1 枠	スーパーでお肉をさばいているという	堀田佳代子（茨城・下妻市）
2 枠	トライアスロンにフルマラソン…のアスリート	森 誠司（福岡・水巻町）
3 枠	和服の着付けが趣味だという	高橋麻里子（東京・葛飾区）
4 枠	神戸でバーのマスターをやっているという	富山 公雄（兵庫・神戸市）

（敬称略）

ルールは

デュオ（2 択）	10 点
スクエア（4 択）	30 点
ストレート（選択肢なし）	50 点

●ステージデュオ（4 問出題・各 10 点）

Q.氷が水に変わる温度は「融点」ですが 水が蒸気になる温度を何という？

凝固点

沸点

「沸点」と即答する。ちなみにタッチパネルには予め選択肢が出ている。

正解は「沸点」。全員正解する。

Q.大分県別府温泉の名物で温泉の蒸気で肉や野菜を蒸した料理を何？

極楽蒸し

地獄蒸し

九州在住なので「地獄蒸し」と即答する。

正解は「地獄蒸し」。ここも全員正解。

Q.1928 年のアメリカ映画『蒸気船ウィリー』でスクリーンデビューを果たしたキャラクターといえば何？

ミッキーマウス

ドナルドダック

ここからクイズの地力が試されるけど、これは定番問題なので「ミッキーマウス」と即答する

正解は「ミッキーマウス」。ここで高橋さんだけが間違える。

Q.バナナの葉に包んだイモ、肉などの食材にココナッツミルクをかけ焼いた石にのせ それに土をのせて蒸し焼きにするパプアニューギニアの伝統料理を何という？

マーマー

ムームー

この問題は知らない。「ムームー」はハワイの民族衣装だから、無難に「マーマー」と解答する。正解は「ムームー」。全員不正解で点差がつかないからほっとした。

ここまでの成績は

堀田	森	高橋	富山
30点	30点	20点	30点

●ステージスクエア (2問出題・各30点)

Q.大阪の郷土料理「おだまき蒸し」の特徴となる 茶わん蒸しの中に入っているものとは次のうちどれ？

もち

うどん

寒天

タピオカ

モニターに映っている「おだまき蒸し」を見て答える問題。一瞬「もち」か「うどん」のどちらか迷ったけど、モニターをよく見るとうどんがうっすら映っていたので「うどん」と答える。

正解は「うどん」。ここも全員正解。間違えなくてほっとした。

Q.サウナ発祥の地とされるフィンランドで 血行をよくするために伝統的に使用される 体をたたくものとは何？

軽石

羊の皮

木の枝

サンダル

以前テレビで紹介されたのを思い出して「木の枝」と即答する。

正解は「木の枝」。ここも全員正解。

簡単な問題が多いせいかなかなか点差がつかない。

ここまでの成績は

堀田	森	高橋	富山
90点	90点	80点	90点

●パーソナルステージ (1問 10～50点)

パーソナルステージは出場者の自己紹介を交えて個々に1問だけ出題される。アンサースタイルをデュオ、スクエア、ストレートの中から選んで答えることができる。

まずは堀田さんから。彼女には出題前に『湯気』の音楽が流れる。

Q.「私は「お茶にしようか」ってやかんを降ろした湯気でめがね曇る人を笑って」という歌詞が登場する
2006年の曲『湯気』を歌う徳島県出身のガールズバンドを何という？

彼女はスクエアを選択して正解する。(30点獲得) 余談だけど、テレビでは問題と選択肢がテロップに出るけど、収録ではテロップは出ず音声だけを聞いて答える。

ちなみに選択肢は

Whiteberry	チャットモンチー
いきものがかり	ZONE

正解は「チャットモンチー」 この問題は知らなかったし、音楽問題は苦手なのでほっとしている。

ここでぼくの登場！武内アナウンサーがぼくについて自己紹介をした後、「アイアンマン」についての説明をする。その合間に応援団が「森くんファイト」の横断幕を出したし、さらに武内アナウンサーは人当たりがいいので落ち着いて話すことができた。そこで問題！

Q.京都市梅小路にある蒸気機関車の博物館では毎年 受験合格祈願として「すべらずの(?)」というものを配布して話題となっていますが 機関車の車輪の空回りを防止していわゆる滑り止めに使われるという(?)に入るものとは何？

問題を聞いた瞬間、即座に「ストレートで行きます！」と宣言し、「砂です！」と答える。「正解！」50点獲得して、ここで他の3人と一気に点差を引き離すことが出来た。ちなみにぼくは鉄道ファンでもあるので蒸気機関車の車輪の空回りを防止するのに砂を撒くことは小学生のころから知っていた。

次はマークしている高橋さんの登場！ウルトラクイズの時と違って奥ゆかしいイメージで着物について淡々と話をする。

Q.蒸気機関や歯車など産業革命の時代をモチーフにして懐かしい未来を描く SF やファンタジーの世界観を表し 最近ではファッションの世界でも使われる言葉を「スチーム(?)」？

彼女はスクエアを選択したものの不正解。

ちなみに選択肢は

スチームパンク	スチームロック
スチームブルース	スチームタップ

正解は「スチームパンク」。ちなみにこの問題も知らなかった。

最後に富山さんの登場。彼のクイズの実力は未知数なのでここはお手並み拝見と行きましょう。

Q.日本で唯一浜辺で天然の砂蒸し風呂が楽しめる温泉地がある鹿児島県の都市はどこ？

4人の中で最も簡単な問題である。もちろんストレートで「指宿市」と答えて正解！

ここまでの成績は

堀田	森	高橋	富山
120点	140点	80点	140点

ここでぼくと富山さんがトップとなる。次のチャンピオンセレクトステージで事実上どちらが正解するかで勝負が決まる。

●チャンピオンセレクトステージ (アンサースタイルはストレートのみ)

チャンピオンの松岡くんが登場する。「レベルが高い」と大人の会話をしつつ、内心ぼくが出場していることを驚いており、どう攻略するかを考えているに違いない。チャンピオンセレクトステージでは番組が用意した問題を松岡くんが選んで個々に出題する。ちなみに正解すれば50点。不正解はマイナス50点。

まずは高橋さん。

Q.まんじゅうやシューマイなどを蒸すのに使われる 円形や四角形の枠に竹や木を編んで作られた蒸し料理用器具を何という？

「せいろ」と答えて正解。

次は堀田さん

Q.蒸気を動力に変換する蒸気機関を改良しイギリス産業革命に大きく貢献した発明家で その功績を称えられ現在では電力や仕事率の単位にもなっているのは「ジェームズ・(?)」？

「ジュール」と答えて不正解。(正解は「ワット」)

いよいよぼく

Q.大友克洋監督による 2004 年公開のアニメ映画『スチームボーイ』で主人公の少年レイの声を演じた女優は誰？

「やられた〜！」

やっぱり、ファイナルステージでぼくとの対戦を避けるために難問を振ってきた。

そもそも「スチームボーイ」という映画自体を知らない。ここはあてずっぽうで答えるしかないが、3人ほど名前が浮かべた。しかしながら3人ともどうしても「スチーム〜」と結びつかない。さらにうちひとりは下の名前の読み方に自信がない。残念ながら「わかりません！」というしかなかった。ここでファイナルステージの進出の夢が断たれた。

答えは鈴木杏 彼女自身をよく知らないなのでこれはもうお手上げだ。

最後に富山さん

Q,1957年にアメリカで考案された 気温と湿度から求められる蒸し暑さの値を何という？

これはクイズが好きな人なら確実にわかる問題だ。

「不快指数」と答えて正解！ここで富山さんのファイナルステージ進出が決定した。

成績は

堀田	森	高橋	富山
70点	90点	130点	190点

ファイナルステージではチャンピオン松岡くんと挑戦者富山さんの対決！

敗れたぼくたちは解答席で彼らの戦況を見守る。後でテレビを見ると安堵感で落ち着いた顔をしている。

結果は180-130で富山さんの勝利！みごと新チャンピオンになった。(残念ながら次の回で王座陥落となる)

今回は4人の挑戦者の中で富山さんは一番問題運がよかったし、ファイナルステージでも的確に答えていたのでぼくの回ではチャンピオンにふさわしいと思う。

収録終了後、NHK放送センターを後にして渋谷で応援団4人と食事をした。高校当時の思い出話から収録の話まで色々な話をした。せっかく応援してくれたにもかかわらずチャンピオンセレクトステージで敗退して申し訳ない気持ちでいっぱいだった。その日は新宿のカプセルホテルで一泊して翌日の飛行機で帰る。

1月17日(金曜日)

待ちに待った放映日。テレビで映っている自分をみて唾然した。自分が思っている以上に緊張まくっているし、まるで別人を見ているみたいだ。しかしながら、応援団たちが横断幕を持っているところがぼっちり映っていたのでよかった。

放映終了後、多くの人から「クイズ、見たよ！」「ストレートで「砂」と答えたのはすごい！」「最後は残念だったね」などのメッセージくれたのがうれしかった。中には20年以上ぶりに現在のぼくの姿を見た人もいたみたいだ。こういった声を聞くと予選を20回以上受けて「あきらめなくてよかった」を感じたものだ。

残念ながら約2年続いた「連続クイズホールドオン！」は放映2か月後の3月末をもって番組が終了した。もうこの番組でリベンジすることはできない。福岡では10月が最後の予選だったので、今思えばこの日に予選を受けなかったら一生後悔したに違いない。本選には1379人が出場したそうだけど、そのうちの一人になれてよかった。本選では収録が楽しかったので一生忘れることができないと思う。現在、視聴者参加型クイズ番組といえば「アタック25」だけであるが、いつかまた何らかの形でこういった番組が誕生して予選などの機会があればまた挑戦したいと思う。

最後まで読んでいただいた方々どうもありがとうございました。

(おわり)